



2003～2004年度

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA—NORTH

例会日：毎週水曜日 12:30～13:30

例会場：越谷市千間台東1-1-6

クオレ千間台 2F

TEL 048 (975) 9898

FAX 048 (977) 3741

創立：1976年5月11日

会長：小林 操

副会長：今野 忠雄

幹事：太田 靖彦

会報委員長：石川 輝次



第1385回例会記録 No.38

平成16年6月23日

司会：中島 正義

編集：石川 輝次

会次第

- 1、点鐘
- 2、ロータリーソング(奉仕の理想)
- 3、会長挨拶
- 4、幹事報告
- 5、クラブ協議会
- 6、終鐘

次回例会予告

平成16年7月21日

Initiation Speech

西島 孝 会員

大久保 勝正 会員

会長挨拶



会長 小林 操

こんにちは。会長になり色々な経験をさせて頂きました。先週は、木村直前会長の息子さんの結婚式に招かれ挨拶をしてきました。木村さんのお仕事の幅の広さを表すように、約300人もお客さんの前での挨拶は、私にとっては初めての経験ですので、その緊張は、大変なものでした。

それはさて置いて、木村さん良かったですね…。ロータリークラブは、人生の修行の場であると誰かが言っているとおり、濃

縮ジューズという感じです。人間関係しかり、お金の使い方しかり、社会経験しかり、55年生きてきて少しは自信がありました。やはり知らないことが如何に多いか。如何に独りよがりであったかを痛感しました。

ロータリー仲間の励まし、賛同は、本当に嬉しく思いました。批判も嬉しく受け止めることが出来ました。一年間のロータリー特訓も合格したかどうかは分かりませんが、何となく頭がロータリーになったように感じます。

例会場の挨拶は今日が最後です。結局原稿を手放すことができませんでしたが、「え～」と言う聞き苦しい言葉は、少なくすることが出来ました。例会場に感謝します。有難うございました・・・！



幹事報告



幹事 太田 靖彦

本日の幹事報告は特別ございませ

ん。皆さん一年間ありがとうございました。来週30日の最終例会はギャザホールですので宜しくお願い申し上げます。

委員会報告



親睦委員会 大熊 正行

幹事報告にも有りましたが30日は最終例会です。お蔭様で会員が50名中45名、奥様が23名の登録をいただきました。当日は5時30分受け付け開始ですが早めに受付を始めますので宜しくお願いいたします。

クラブ協議会



会長所感

会長 小林 操

一年間ご苦労様でした。「原点に帰り、ロータリアンらしくあれ」の標語のもと、無事一年間の活動を終わることが出来ます。一点重点主義の活動ももと、もっともロータリアンらしい活

動を模索してきたわけです。各委員長の方には、かなりの重荷になったことでしょう。新会員の域を出ていない委員長、経験の少ない委員長、そして、クラブのために、立ち上がってくれた委員長、この一年の経験は、きっとこれからの人生に大きなプラスとなって現れることを約束します。

新会員がロータリークラブにはいるとき、まず初めに考えることは、そろそろ奉仕をしてみるかということだと思います。またもしかしたら他に奉仕をしていて、本格的に奉仕をして見ようかという気持ちがあった人もいるかもしれません。もちろんクラブは、組織ですから、組織の調和を図るために、親睦は必須でしょう。つまり、ロータリアンは、初めから皆、奉仕を志している人々の集まりです。趣味が共通とか、気が合うとか、嗜好が同じとか、同じ仕事であるとか、友人を作りたいとかは、二次的に過ぎません。時として、初心を忘れ遊びに没頭する幸せな会員も見受けられます。

職業奉仕はロータリーの土台です。職業奉仕も出来なく他の奉仕が出来るでしょうか。自分の仕事に余裕を持ちロータリー精神を反映させ、企業の成長に努力することこそ職業奉仕です。社会のせい、世の中のせい、にして、企業の存亡の危機を招くような会員にはロータリー精神は理解できないでしょう。奉仕を忘れて遊びに耽る人々も理解できないはずです。

ロータリークラブは、奉仕をする

人々の集まりです。そこが原点ではないでしょうか。奉仕をしてみようと思う人たちが、集まり、役割を分担し、調和を図る、衰退する仲間のクラブを見れば、明らかに違いが分かります。

ロータリークラブとは、奉仕と運営、言い直せば、奉仕と親睦は、二輪車の前後の輪ではないでしょうか。前輪は奉仕、後輪は親睦、前輪に急ブレーキを掛ければ転倒するでしょうし、後輪が壊れていれば、全体は前に進みません。これを理解している人、それがロータリアンです。ロータリアンらしいとは、以上のことを理解しているロータリアンのことです。決して新しい解釈でも何でもありません。普段忘れがちな「ロータリーの理念」ではないでしょうか。

最後に、ロータリーの奉仕は決して強制するものではないでしょう。財団も米山も強制という言葉はどこにもありません。クラブの維持のためには、会費として強制的に徴収することは当然です。組織ですから維持管理が必要です。

ロータリー綱領には、努力目標が書かれています。会員はそれぞれ価値観を持ち、それぞれの奉仕をしています。裕福な会員もいれば、自分の小遣いから諸費用を賄っている会員、社用で処理している会員等、ロータリークラブの会員は、財力等では、比較も、尊卑も、平等もありません。あるのは、皆が奉仕をするという気持ちを持っているということです。

ロータリークラブの平等は、会員は平等に奉仕をすることができ、その奉仕は、人それぞれによって違うと言うことではないでしょうか。財団も米山も目標額は定められますが、多くても少なくとも会員次第と言うことです。会員は自らの理解と意思で寄付するのではないのでしょうか。それがロータリーの奉仕だと思っています。

私のロータリー観は、理念に近いかもしれません。理念を忘れた理論は、方向性をもたない風船のようなものではないでしょうか。気が付いた時には、ロータリークラブが、単なる仲良しクラブになっているかもしれません。

この一年たくさんのことを考え、多くのことをして来ました。

また、ロータリーの素晴らしさを感じた一年でした。

理事役員、委員長、会員皆様のご協力本当に有難うございました。ここに謹んで御礼申し上げます。

監督調整担当委員長コメント



クラブ奉仕委員会
委員長山口 秀行

この1年クラブ奉仕委員長を経験



会長エレクト
中村 義雄

分類・選考委員会、会員増強委員会、

させていただきます。

まことに頼りない委員長としてその資格が問われるところですが、前年度の委員長の堀野さんのアドバイスをいただきながらまた各委員長を初め会員の皆様のご協力で何とかやってきました。

クラブ奉仕としての仕事はまず8月20日にクラブ奉仕フォーラムを執り行いました。内容は小林委員長の提唱された「原点に帰り、ロータリアンらしくあれ」という題をもとにロータリーの源流という田中パストガバナーのホームページを基にしたアンケート方式の勉強会を行い、ロータリーの基礎を学び興味を起すように努めました。

あと 越谷北クラブのホームページを1年間運営してきたことです。

出席会場運営委員長の若海さん、親睦活動委員長の大熊さん、プログラム委員長の関森さん、会報広報委員長の石川さん、1年間ご苦労様でした。各々に1年間の総括をお願いいたします。

R 情報・雑誌委員会の三つの委員会はクラブ会長の「原点に帰り、ロータリアンらしくあれ！」のテーマに基づき増強は質にこだわり本年度は3名の有能な新会員が入会されました。そして、入会3年未満の会員の方々には研修会を行いました。炉辺会合ではクラブの問題点を洗い出しているいろいろと討議をして頂きました。

又、R 情報・雑誌委員会ではロータリーの思考、ロータリーの行動、ロータリーの歴史の3部門に別けて毎月1回、3分間情報として発表させて頂きました。以上のように年度の計画案通り無事終了することができました。これも会員の皆様のご協力のお陰と心より御礼申し上げます。



職業奉仕委員会

委員長 長島 洋一

職業奉仕委員会の1年間の活動報告と活動の基本的な考え方を述べさせていただきます。

今年度小林操会長は「原点に帰り、ロータリアンらしくあれ！」と提言されました。また地区の田中部門委員長も「原点に帰って、ロータリーでもっと仕事の話をしよう」と言っておられました。ロータリーの原点は職奉にある

とよく言われますが、職業奉仕委員会も、もう一度原点を見つめなおしお互いの経営ノウハウや経営理念その他会員の職業に対する理解と関心をもち、できるだけ例会場で職業や仕事上の話のウェイトが多くなるよう努力してまいりました。その結果1年間で10名の会員から「職業上の出会い」ということで経営全般にわたって質疑応答も含め卓話をしていただきました。また会員皆様のご協力によりまして、地区内ポケ・ショナルネットガイドの立ち上げにも協力させて頂きました。

予算的には地区負担金として14000円消化しただけでクラブ内は0円でした。



社会奉仕委員会

委員長 亀田 栄一

活動

1. 市民まつり

ポリオ撲滅キャンペーンのため、ダイヤルをすると、寄付ができる内容を記載したウェットティッシュを、配布しました。一人でも多くの人に、ロータリーがポリオ撲滅の運動に取り組んでいること、そしてポリオ撲滅に協力しようという気持ちになってくれるように

なればと思います。

2. 健康ハイキング

自然の美しさに感動し、環境保全の大切さを知るために、青木委員長の職場の近くの山にハイキングに行きました。

3. インターアクトの活動に協力
年次大会参加。韓国との海外研修生交換等盛りだくさんの活動を支援しました。

4. 中学生の主張と銘打ったフォーラム

越谷栄進中の生徒数名による、今の大人に対し考えていること、要望等を発表していただきました。普段、同世代の子供達の考えていることを知る機会はなかなか無いので、とても参考になりました。

5. ゴミゼロ運動

今回は、例年の場所と共に、大袋バイパスの下という普段とても汚れているところを、国土交通省の許可を取って行いました。とてもやり応えがあり、終わった後はすがすがしい気持ちになりました。

6. スマイル

今年度のスマイルは、社会奉仕活動だけでなく、職業奉仕及び国際奉仕の活動資金でもありました。皆様のご協力により、ほぼ目標に近い金額を、達成することができました。

総括 例年行われている事業の外、新しい試みも行いました。

ロータリーの最近のテーマである青少年問題と環境問題については、今後も引き続き力を入れていただきたいと思います。

最後に、各委員長始め委員の方には大変お世話になりました。厚くお礼申し上げます。



国際奉仕委員会

委員長 黒田 幸英

2月の行った国際フォーラムは、2度国際交流・国際親善の旅行の行程を計画中であったので、参加者の募集も兼ねて旅行にお力添えを頂いた開封市の職員で且つ米山奨学生でもある韓冬黎さんに卓話をお願いしました。そして4月25日から4月29日で4泊5日の親善旅行も多くの参加者を得て成功裏に執り行うことができました。

5月入ると直ぐに姉妹クラブの再調印式があり、安養冠岳ロータリークラブの来日メンバーを受け入れる準備に係りました。夜間例会となった、調印式は通訳を2人お願いし、他に米山奨学生の安さんとお客様としてお呼びした李さんにも通訳をお願いし4人の通訳を配置して活発な交流を皆様ができる様に機会と場をご提供できたと思います。

5 月にはもう一つ大きな行事がありました。大阪で開かれた R I 国際大会への参加です。これも、親睦委員会との共催で行い多くの方の参加を頂き盛況の内に執り行いました。

4 月 5 月の 2 ヶ月間に、国際奉仕委員会の行事が集中する結果を招いてしまいましたが、これは年度計画を作成する時点で、安養冠岳ロータリークラブとの連絡がうまく取れないまま今年度の計画を作成した所に原因があり、反省しております。この 1 年間未熟な委員長を支えて下さった、委員会の皆様及び会員各位に対しお礼申し上げます。

国際奉仕部門委員会の活動は、ロータリー財団委員会・米山奨学委員会共に当初の計画をほぼ達成することが出来ました。この不況の経済下においても皆様の理解ある行動にただただ感謝申し上げます。有難う御座いました。

その後各委員会委員長より年度所感の発表がありました。

出席報告

会員数	51名
出席免除	4名
出席者	41名
欠席者	10名
出席率	87.2%
前回メークアップ	0名
前々回メークアップ	0名
前々回修正出席率	%

お客様紹介



日中水墨交流協会顧問
結城 天鼓 様